

# 伊賀市消防出初式



1月10日、市民が一体となって防火の意識を高めるために、新春恒例の消防出初式を上野運動公園で開催しました。消防職員や消防団員、市内の自主防災組織で、およそ1500人が参加しました。

通常点検では、内保市長と角田副市長が一人ひとりを順番に、消防職員や消防団員の服装・姿勢・動作などの点検を行いました。

幼年消防クラブの園児たちは、元氣いっぱい忍ジャーズダンスを披露し、「マツチやライターは持ちません」「たき火はしません」「火遊びはしません」と元氣よく防火の誓いをしました。

また消防職員によるはしご乗りが行われました。高さ6mの竹のはしごと、8mのスチール製のはしごの上に登った職員は、バランスをとりながらさまざまな型を披露し、技が決まるたびに会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

最後には毎年恒例の一斉放水があり、今年も防火に努めようと決意を新たにしました。



## ▼優良消防団員表彰▲

### 伊賀市長感謝状

#### (退職消防団員)

前消防団長 藤田 建五  
他51人

#### 三重県消防協会

#### (感謝状)

前消防団長 藤田 建五  
前阿山方面隊長 森本 喜代一

前大山田方面隊長 中川 正則

伊賀市消防団長表彰  
(表彰徽章)

部長 坂口 直也  
他126人

三重県消防協会定例表彰  
(功績章)

分団長 増井 達也  
他3人

(精勤章)

分団長 峰 一夫  
他10人

#### (表彰徽章)

副分団長 福山 寿光  
他87人

#### 三重県消防協会

#### 伊賀支会定例表彰

#### (功労章)

分団長 西口 秀和  
他11人

#### (表彰徽章)

部長 坂口 直也  
他126人

#### ※敬称略

※紙面の都合上代表者で受章した方のみ紹介します



# 2010年 健康に〜!

## ●●● おおやまだ元日マラソン ●●●

1月1日、伊賀の国大山田温泉さるびのを発着点とする第34回おおやまだ元日マラソンを開催しました。

この大会は、1年の始まりに健康の大切さを感じてもらい、1年の健康を祈願することを目的に、毎年開催している新春恒例の行事です。

この日は、市内をはじめ、市外や県外のお年寄りから子どもまで、およそ400人が参加しました。



雪がちらつく中、まず3.5キロのマラソンコースの参加者が元気にスタートし、続いて5キロのマラソンコース、2キロのウォーキングコースの参加者がスタートしました。

3.5キロのコースでは、葦神社の周りを1周し、5キロのコースでは、新大仏寺のある大仏山の周りを1周するコースを走りました。また、ウォーキングコースでは、さるびの温泉の源泉地を折り返し地点とするコースを歩きました。

親子や家族で、また友達同士で一緒に参加する人が多く、1年の健康を祈り、年明けを元気にスタートさせる姿が見られました。

# 人それぞれのトラ

## ●●● 寅の春展 ●●●

1月5日から9日の5日間、伊賀市中央公民館で、寅の春展を開催しました。

干支展には、今回出展があった123点の絵馬のほかに、昭和37年、49年、61年、平成10年に出品された絵馬212点も展示されました。

また、トラの置物や玩具のほかに、干支の絵や文字を彫った、過去の干支展で使った版木も展示しました。講座室では、トラを題材にした絵手紙も展示され、訪れた人たちは、感心しながら新春の雰囲気を楽しみました。



# 全員が平成生まれ!

## ●●● 平成22年成人式 ●●●

1月10日、伊賀市文化会館で平成22年成人式を開催しました。

会場前は、受付が始まる前から多くの人で賑わい、また、久しぶりの再会ということもあってか、大勢の人数で、写真撮影をしたり、携帯電話の番号などを交換しあう姿が多く見られ、「久しぶりに友達と会えるので、成人式を楽しみにしていました。」と笑顔で話す女性が印象的でした。

今年、伊賀市では、男性520人、女性527人、合計1,047人が大人の仲間入りをし、新成人は「法学部で

学んでいるので、弁護士になりたい。」「感謝の気持ちを持ってがんばりたい。」「『ありがとう』と言ってもらえるよう心がけたい。」など今後の抱負をいきいきとした表情で述べました。

